

3) 急傾斜地崩壊危険区域

調査区域における急傾斜地崩壊危険区域^{※1}は、図 3.2-30 に示すとおりです。

対象事業実施区域に最も近い急傾斜地崩壊危険区域は、対象事業実施区域の東南東約 170 mに存在しています。なお、対象事業実施区域に急傾斜地崩壊危険区域の指定はありません。

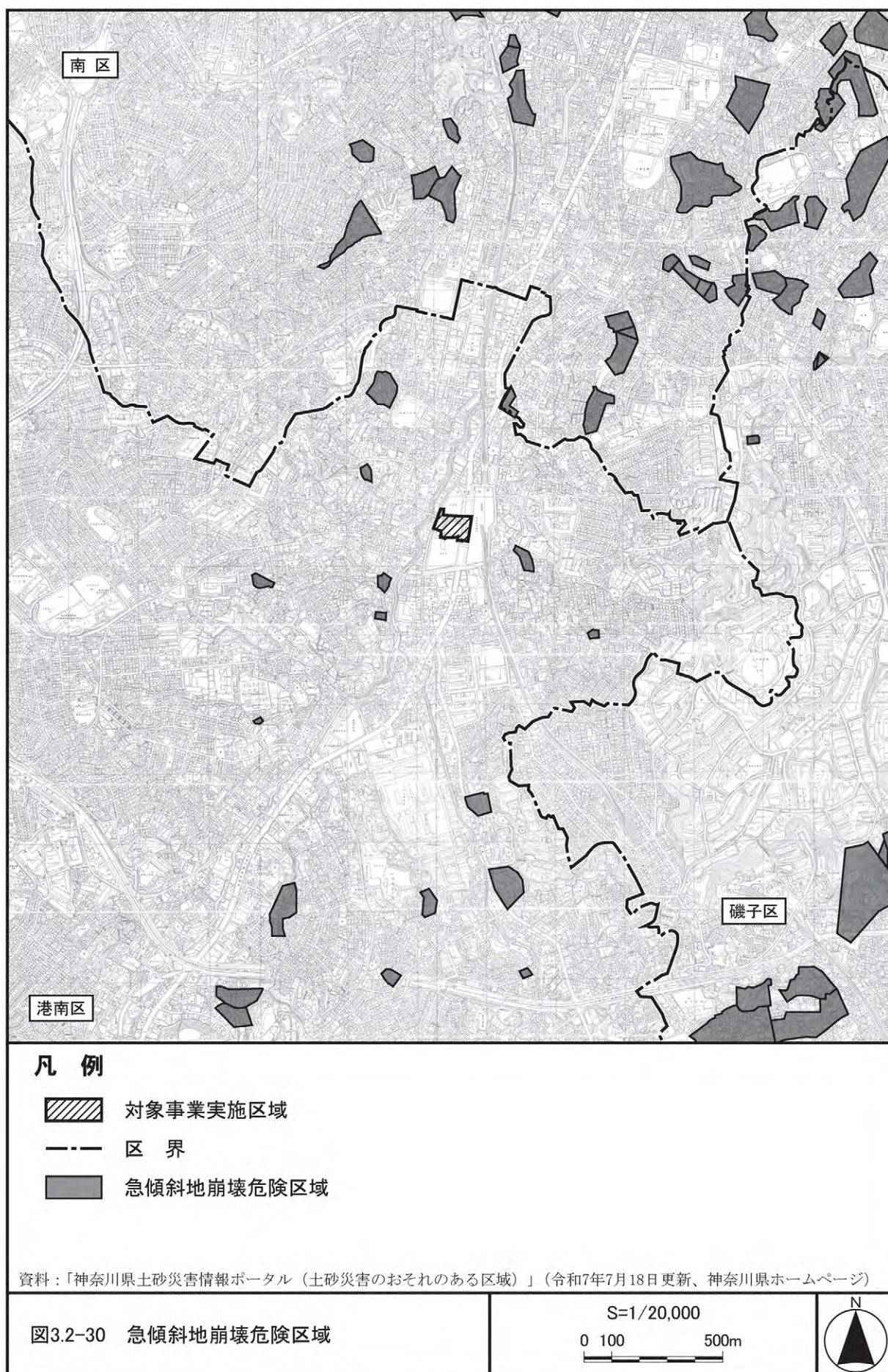
4) 土砂災害警戒区域

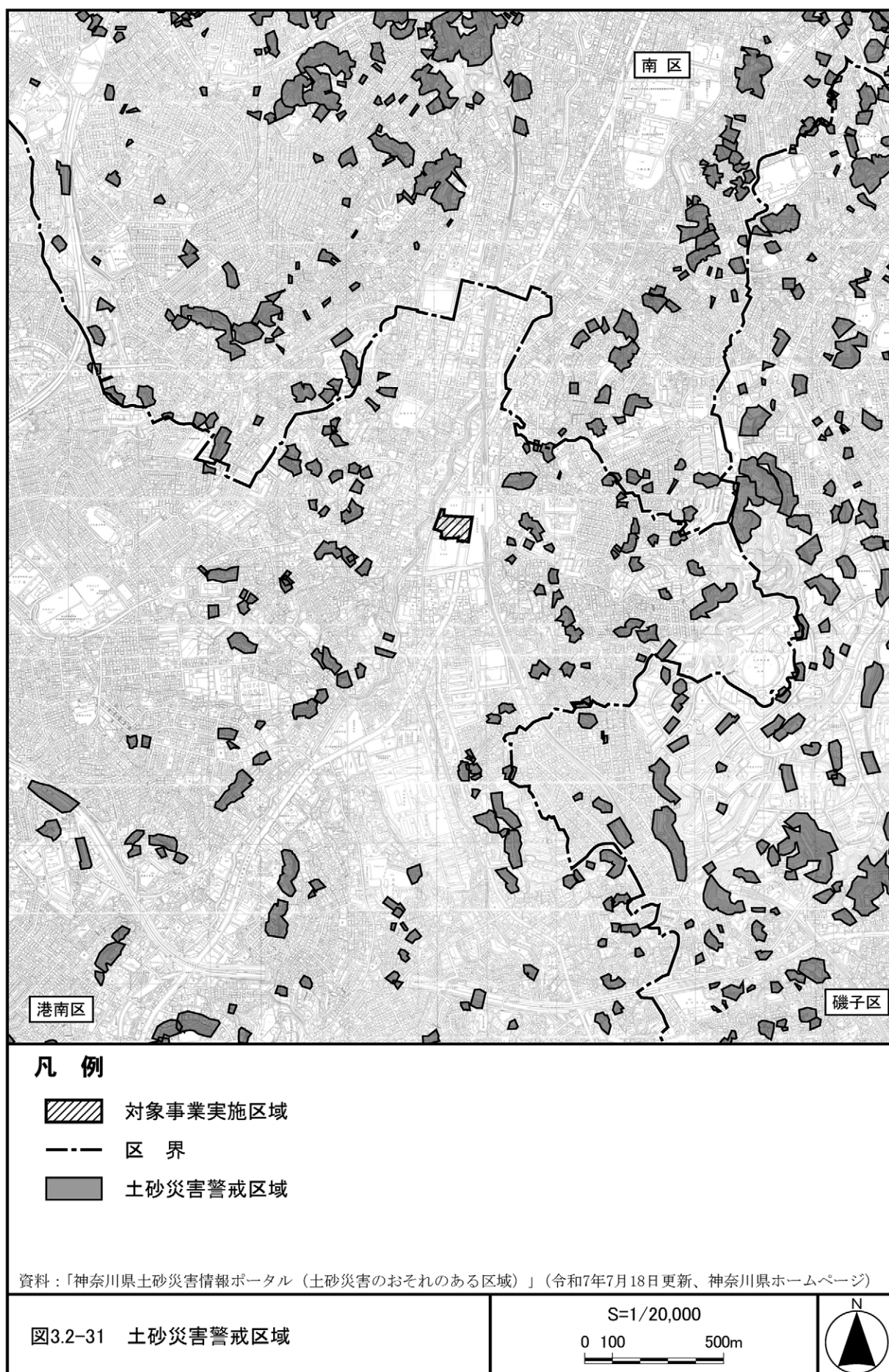
調査区域における土砂災害警戒区域^{※2}は、図 3.2-31 に示すとおりです。

対象事業実施区域に最も近い土砂災害警戒区域は、対象事業実施区域の東約 140mに存在しています。なお、対象事業実施区域に土砂災害警戒区域の指定はありません。

※1：「急傾斜地崩壊危険区域」とは、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき、傾斜角度が 30 度以上かつ高さが 5m 以上、ならびに急傾斜地の崩壊により危害が生じる恐れがある家が 5 戸以上である（5 戸未満であっても官公署、学校、病院、旅館等に危害が生じる恐れがある）場合に神奈川県が指定する区域です。

※2：「土砂災害警戒区域」とは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域として神奈川県が指定する区域です。





5) 浸水のおそれのある区域

調査区域における「洪水ハザードマップ※1」（令和6年10月、横浜市）は、図3.2-32に示すとおりです。

調査区域では、想定最大規模の降雨（24時間で332mm）時に、大岡川及び日野川の沿岸域の一部で3.0m未満の浸水が予想されています。対象事業実施区域は、想定最大規模の降雨時における「浸水のおそれのある区域」には含まれていませんが、区域内の西側の一部が「家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）」とされています。

また、調査区域における「内水ハザードマップ※2」（令和6年10月、横浜市）は図3.2-33に示すとおりです。

調査区域では、想定最大規模の降雨（1時間に最大153mm）時に大岡川の沿岸域の一部で2.0m以上の浸水が予想されています。対象事業実施区域においては、想定最大規模の降雨時に一部で最大1.0mの浸水が予想されています。また、対象事業実施区域周辺では、西約40mの場所で最大2.0mの浸水が予想されています。

また、調査区域における「高潮ハザードマップ※3」（令和6年10月、横浜市）は、図3.2-34に示すとおりです。

調査区域では、想定最大規模の高潮（国内観測史上、最も大きな台風が、沿岸に最悪の被害を与える経路で襲来した場合）時に、対象事業実施区域の北約1.1kmのエリアを含む大岡川の沿岸域の一部で3.0m未満の浸水が予想されています。対象事業実施区域は、想定最大規模の高潮時における「浸水のおそれのある区域」には含まれていません。

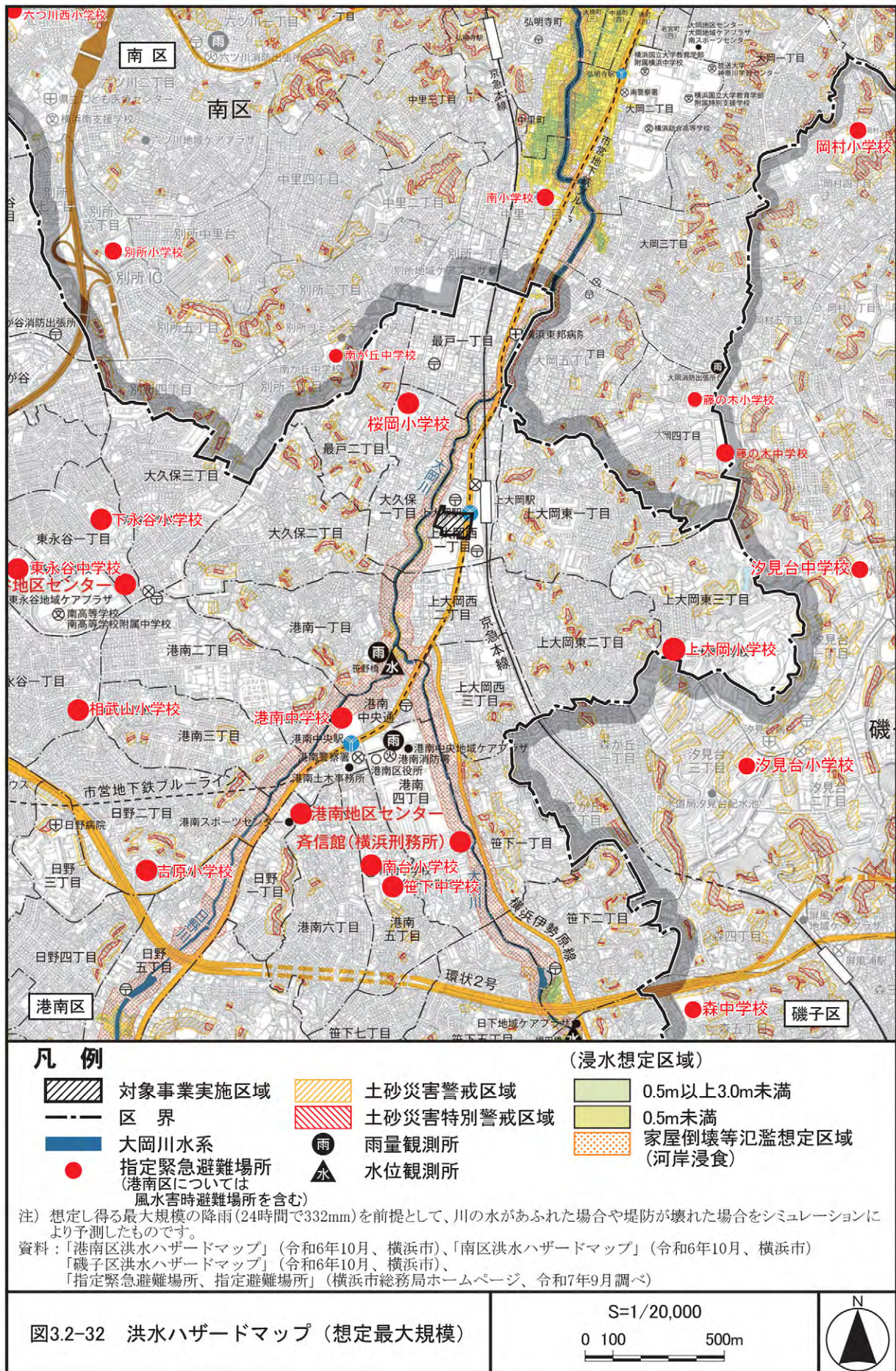
なお、調査区域は内陸部に位置しており、「神奈川県津波浸水想定図※4」（平成27年3月、神奈川県）では、対象事業実施区域及びその周辺は浸水域として想定されていません。

※1：「洪水ハザードマップ」とは、洪水（河川氾濫）によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップで、浸水が想定される区域の皆様が速やかに避難していただくために作成されたものです。

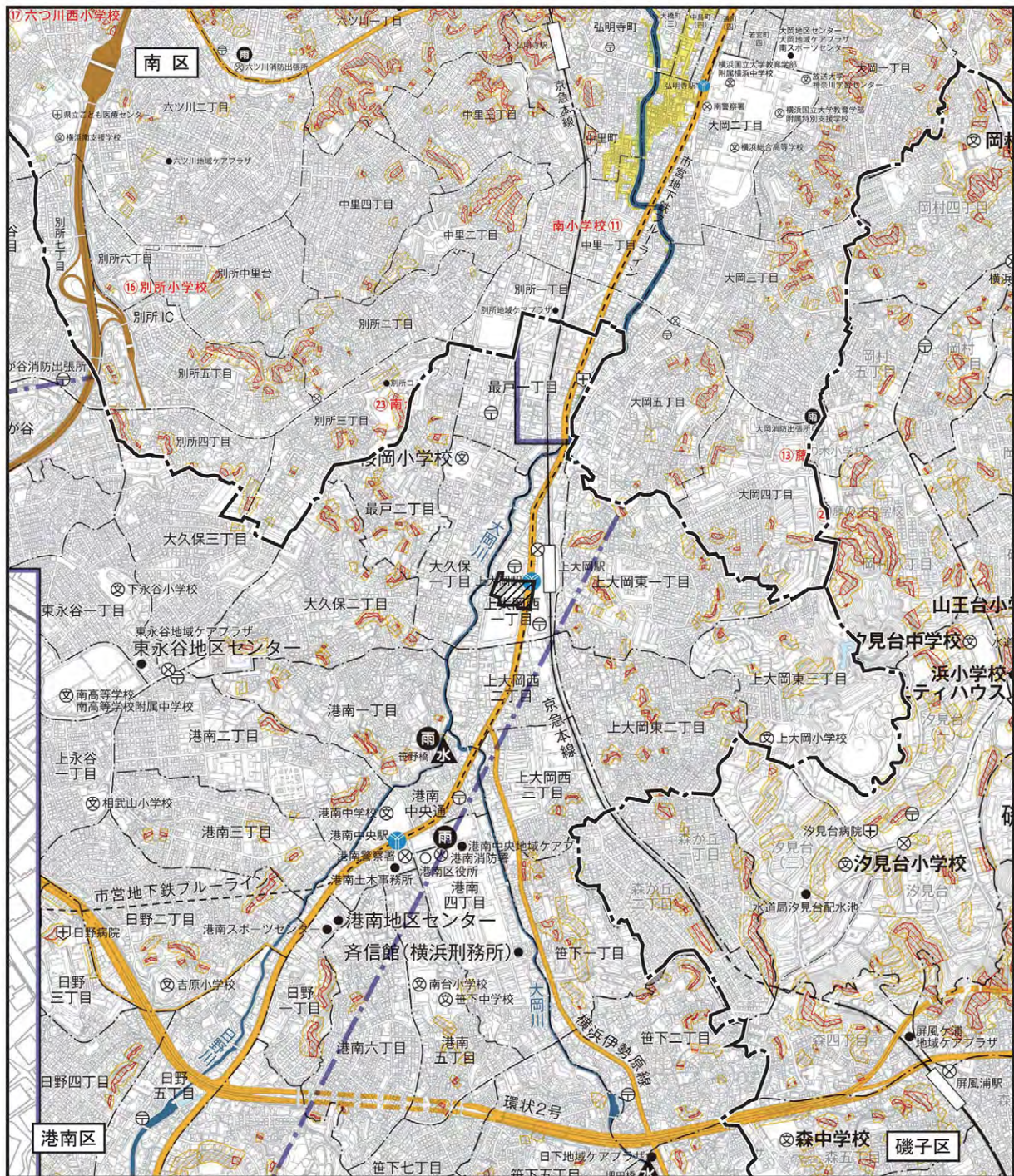
※2：「内水ハザードマップ」とは、内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップです。下水道の能力を超える大雨に対して、市民の皆様が日頃からの備えや対策をとっていただくために作成されたものです。

※3：「高潮ハザードマップ」とは、高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域の皆様が速やかに避難していただくために作成されたものです。

※4：「神奈川県津波浸水想定図」とは、神奈川県の沿岸地域における「津波高さ」または「浸水域」が最大となる、合計5つの地震による津波浸水予測図を基に、浸水域と浸水深が最大となるように重ね合わせた図面（津波浸水想定図）です。







凡 例

- | | | | | | |
|--|----------|--|-------------------|--|--------------|
| | 対象事業実施区域 | | 土砂災害警戒区域 | | 0.5m以上3.0m未満 |
| | 区 界 | | 土砂災害特別警戒区域 | | 0.5m未満 |
| | 雨量観測所 | | 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流) | | |
| | 水位観測所 | | | | |

※図中の紫色の実線・破線は、ハザードマップの元図に記載された拡大図の範囲等です。

注) 国内観測史上、最も大きな台風が、沿岸に最悪の被害を与える経路で襲来した場合をシミュレーションにより予測したものです。

資料: 「港南区高潮ハザードマップ」(令和6年10月、横浜市)、「南区高潮ハザードマップ」(令和6年10月、横浜市)
「磯子区高潮ハザードマップ」(令和6年10月、横浜市)

図3.2-34 高潮ハザードマップ(想定最大規模)

S=1/20,000

0 100 500m

